

令和2年度 森林保護基礎研修（県林業技術センター実施） を支援しました

林業普及指導員等の林業関係職員の能力向上を図るため、岩手県林業技術センターが実施する研修のうち、岩手県や市町村職員19名が参加する「森林保護基礎研修（Ⅱ）」が令和2年10月21日（水）に実施され、聴講するとともに、盛岡森林管理署で実施している二ホンシカ対策（防鹿柵の設置状況）について紹介しました。

午前中は、矢巾町内の林業技術センター講義室において、森林総合研究所東北支所育林技術研究グループ 酒井 敦氏による「再造林地のシカ被害対策～シカ高密度地域からのメッセージ～」、及び林業技術センター普及班による「森林経営計画と鳥獣害対策事業」についての講義があり、当署職員も聴講しました。

二ホンシカ被害の全国的な現状と対策の状況、岩手県の対策事業の実施状況を知ることができました。



午後は、盛岡市内の虫壁山国有林において「盛岡森林管理署における二ホンシカ対策」と題し、現地で説明、講義をしました。防護柵の設置方法から各タイプの維持管理方法について解説し、PE（ポリエチレン）ネット柵（スカートネット付きと無しの2タイプ）と金網柵、生息状況を把握するため設置しているセンサーカメラを紹介しました。

防鹿柵の設置にかかるコストやメンテナンスについて参加者の関心が集まりました。

また、新たに取り組んでいる、ドローンによる防鹿柵点検について、実際にドローンを飛ばしながら、新たに配備されたタブレットを活用しその場で映像を確認するデモンストレーションを行いました。

岩手県の民有林では、防鹿柵による二ホンシカ対策はまだ一般的に実施されていない現状です。今後、二ホンシカの生息域が拡大し林業被害が増加した場合には、当署の取り組みを活かして欲しいと思います。



ドローン映像を確認



【東北森林管理局 盛岡森林管理署】

〒020-0061 岩手県盛岡市北山2丁目2-40 TEL:019(663)8001

HP : <https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/morioka/>